

1	応募科目	マーケティング論
2	応募資格（希望）	教授
3	氏 名（ふりがな）	日大 花子（にちだい はなこ）
4	西暦表示の生年月日（令和7年4月1日現在の満年齢）	1978年10月4日生まれ（満46歳）
5	Eメール	nihon@xxxx.ac.jp
6	緊急連絡用電話番号（携帯）	090-0000-0000
7	現勤務先名称（所在地）	△▽大学△○学部（神奈川県横浜市）
8	現勤務先の職位等	教授
9	最終学位（大学・大学院名を明記）と学位論文のタイトル	博士（経営学）（○○大学大学院○○研究科）
		「○○マーケティングに関する研究」
10	学位取得年月	2010年3月
11	直近学会発表年月*	2020年5月
12	教歴の概要（古い順）	△△大学□△学部 非常勤講師3年
		△▽大学△○学部 専任講師3年
		△▽大学△○学部 准教授6年
		△▽大学△○学部 教授3年
13	現在の担当科目（主たる科目に○）	マーケティング論○
		消費者行動論
		ゼミナール
14	特記事項	△△学会賞（2016年8月）
		□□□論文賞（2011年10月）

*日本学術会議協力学術研究団体に登録された学会，これに準ずる学会又は一定の条件を満たす国際会議で1回以上，学会発表をしているのが条件。共同研究報告は原則として2回の報告をもって学会報告1回とみなします。

15. 審査対象研究業績一覧と要旨（各200字程度）

氏名 []

優先順位	分類（注1）	単著 ・共著	著者名（注2）	出版年	著書・学术论文のタイトル	雑誌名 /発行所	該当頁 pp. ○- ○	査読の有 無
5	著書	共著	商学太郎	2022	「……………」	経済良子（編）『△□研究 の最前線』 商学書房	pp. 9-29	無
【要旨】	200字程度 →	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>						
6	学术论文	単著	商学太郎	2023	「……………」	『○▽ジャーナル』第○巻 第○号	pp. 11-33	有
【要旨】	200字程度 →	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/>						

15 審査対象研究業績一覧と要旨（各200字程度）

[募集資格]	[提出著書・論文]
教 授	著書（単著）1冊又は論文5編
准教授	著書（単著）1冊又は論文3編
専任講師	著書（単著）1冊又は論文3編
助 教	著書（単著）1冊又は論文2編

※研究ノート又はこれと同等の著作物は、原則として、2編をもって論文1編とみなします。

※共同研究論文は、原則として、2編をもって論文1編とみなします。

※審査対象研究業績は、応募書類記入時において、発行済みの「**学術論文**」，「**著書**」に限ります。

※著書として公刊されたものを除き、博士論文は、審査対象研究業績に含まれません。

※「昇格」を伴う応募の場合は、現在の資格以降に公表した「**学術論文**」，「**著書**」が審査対象となります。

（例）現在「准教授」の方が審査資格「教授」に応募する場合、「准教授」以降に公表した「学術論文」，「著書」のみが審査対象研究業績となります。

優先順位、分類（注1）、審査対象研究業績の詳細（注2）（注3）

（注1）提出論文・書籍に優先順位を付けて、著書、学術論文のいずれかに分類する。

（注2）審査対象研究業績の詳細を下記の順に記入する。

・雑誌論文の場合、①著者名（共著の場合は、共著者をfirst authorからすべて記入）、②（発行年）、③「論文のタイトル」、④『雑誌名』、⑤第〇巻第〇号、⑥〇ー〇頁、⑦査読の有無の順に記入する。

・書籍（単著）の場合、①著者名、②（発行年）、③『書籍名』、④出版社、⑤総ページ数の順に記入する。

・書籍（共著）の場合、①著者名（共著の場合は、共著者をfirst authorからすべて記入）、②（発行年）、③「担当箇所のタイトル」、④編著者名、⑤『書籍名』、⑥出版社、⑦〇ー〇頁の順に記入する。

・英文ジャーナルに掲載された論文もシカゴスタイルなどにより、すべての著者名、出版年、雑誌名、該当ページがわかるように英語で記述し、要旨は日本語で表記してください。

（注3）記入用紙が不足する場合は適宜追加して提出ください。